

願 清 淨 心

供 養 三 寶

祈り

響きの空間

てんだいししょうみょう

天台聲明とチエンバロ

聲明

三人の天台宗僧侶

チエンバロ

岡田龍之介

日時 2010年 5月 30日(日) 午後3時30分より

会場 天台宗 平林山 千手院 客殿
(南佐久郡佐久穂町平林263)

会費 おひとり 2,000円 当日、受付時にお持ちください

主催 天台宗 平林山 千手院
方向舎

- お申込み・お問合せ先 方向舎 (電話 0268-49-3266)
- お問合せは、千手院 (電話 0267-86-2775) でも申し受けます

Program

- ☆ ウィリアム・バード(1543-1623)
 - : パヴァーヌ イ調
 - 四智讃(シチサン)梵語(ボンゴ)
 - 仏の徳を称える曲で、サンスクリット語を音写した曲
 - 四智讃 漢語(カンゴ)
 - 四智梵語と同様に漢訳した曲
 - ☆ ジローラモ・フレスコバルディ(1583-1643)
 - : 2つのガリヤルダ
 - 諸天漢語讃(ショテンカンゴサン)
 - 諸天善神(ショテンゼンジン)を讃嘆する曲
 - ☆ ドメニコ・スカルラッチィ(1685-1757)
 - : ソナタ ホ長調 K.215
 - 真言・本日の護摩の御本尊、不動明王の真言。
 - 「なまく。さまんだ。ばさらなん。さんだ。まかるしやな。そわたや。うんたらた。かんまん。」
 - 「真実の言葉」の意味で、サンスクリット語を音写し、不動明王の力を言葉で表している呪文。
 - 般若心経・ほとんどの宗派で読まれているお経で、大般若波羅蜜多経という600巻にもなるお経を262文字に集約したお経。
- 休憩-----
- ☆ ヨハン・ヤコブ・フローベルガー(1616-1667)
 - : 組曲 二短調 / アルマンド、クーラント、サラバンド、ジグ
 - ☆ ジャン・フィリップ・ラモー(1683-1764)
 - : ロンドによるジグ、サラバンド、ファンファリネット
 - 散華(サンゲ)
 - 華を撒き、諸仏を招き道場を荘厳する曲
 - 九方便(クホウベン)
 - 仏の教えを9つの喩えで表現した曲
 - ☆ ルイ・クーブラン(1626-1661)
 - : パヴァーヌ 嬰へ短調
 - 回向伽陀(エコウカダ)
 - 法要の終わりに唱える曲

本日演奏するチェンバロの作品は皆、17、18世紀のバロック時代に作曲されたチェンバロのための作品です。思わず心が弾むような舞曲からしみじみとした味わいの渋い曲まで、様々なキャラクターの小品が登場します。

チェンバロはピアノが登場する以前の花形鍵盤楽器ですが、その音色は銀の鈴の音にたとえられるほど繊細かつ密やかなものでした。人に聴かせるというよりは自分自身の愉しみ、心の慰めといった趣のこれらの作品には、チェンバロの透明な音同様、聴く人をほっとさせリラックスさせる性質が潜んでいるように、私には思えます。チェンバロの音による静かな語りかけは、宗教的な祈りにも通ずる不思議な魅力と敬虔さを持っている、とも表現できるでしょうか？

本日はこれらの音楽を聲明ともどもお楽しみ頂ければ幸いです。

岡田龍之介

慶応義塾大学経済学部、東京藝術大学楽理科卒業。1986年同大学院修了。音楽学を角倉一朗、チェンバロを有田千代子、渡邊順生の各氏に師事。1983年にJ.J.ルソーのオペラ《村の古い師》(原語による本邦初演)でデビュー以来、数多くの演奏会に出演。国内外のバロック奏者とのアンサンブルで培った通奏低音には定評があり、近年はソロ、教育活動にも力を入れる。これまでにアリオソ・レクチャーコンサート、栃木[蔵の街]音楽祭、目白バ・ロック音楽祭、北とびあ国際音楽祭、ソウル国際古楽祭、みなと・よこはまバロックシリーズ、旭川雪の美術館古楽コンサート、かなざわ史跡コンサート、NHK-FMなどに出演。第13回古楽コンクール(山梨)ではチェンバロ部門の審査員を務める。2003年にリリースされたソロCD「銀色の響き」(レコード芸術誌準特選)の他これまでに4枚のCDをリリース。古楽アンサンブル「ムジカ・レセルヴァータ」主宰。現在、洗足学園音楽大学、都留音楽祭各講師。

携帯電話などの電源はお切りください

販売品の収益の一部は千手院の板絵修復・保存に使わせていただきます